

傷口見えぬ下肢静脈瘤治療

の血管（いづらができ
る下肢静脈瘤しゆうまの治

め、小さいとは言え、傷口
が残るのが難点だった。

療で、足の付け根（そ
けい部）から管を入れる新
しいレーザー治療が注目さ
れている。日帰り手術も可
能で、傷口が目立たない点
が特長だ。

東京・渋谷区の北青山D
クリニックの阿保義久院長
は、そけいヘルニア治療の
経験から、そけい部にあり、
逆流している静脈を結んで
血流を止めた上で、足先に
向かって管を入れ、レーザー

下肢静脈瘤は、血液の逆
流を防ぐ静脈の弁が壊れて
血流が滞り、こぶがでる
病気。患者は1000万人
とも言われ、女性に多い。

「そけい部からの管の挿
入は経験が必要で、部位に
よっては治療が難しい場合
もある。専門医に相談して
ほしい」と話す。保険はきか
ず、同クリニックでは費用
は片方の足で平均25万円。

治療はストッキングの装
着、静脈を引き抜くストリ
ップングのほか、レーザー
治療がある。だが、レーザ
ー治療は、ふくらはぎ付近
を切開して管を入れ、レー
ザーで静脈内壁を焼きた